

CASBEE-建築(新築)2016年版
 京セラ株式会社 京都綾部工場 スマートロジスティクスセンター

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.01)

スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点		全体	
		評価点	重み係数	評価点	重み係数
Q1 建築物の環境品質			0.30		2.6
Q1 室内環境					2.7
1 音環境		1.1	0.15	-	1.1
1.1 室内騒音レベル		1.0	0.40	-	-
1.2 遮音		1.4	0.40	-	-
1 開口部遮音性能		1.0	0.60	-	-
2 界壁遮音性能		2.0	0.40	-	-
3 界床遮音性能(軽衝撃発源)		-	-	-	-
4 界床遮音性能(重衝撃発源)		-	-	-	-
1.3 吸音		1.0	0.20	-	-
2 温熱環境		2.5	0.35	-	2.5
2.1 室温制御		2.8	0.50	-	-
1 室温		3.0	0.38	-	-
2 外皮性能		1.0	0.25	-	-
3 ゾーン別制御性	パッケージエアコンにより室温の個別制御が可能	4.0	0.38	-	-
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-
3 光・視環境		2.8	0.25	-	2.8
3.1 屋光利用		2.4	0.30	-	-
1 屋光率		2.0	0.60	-	-
2 方位別開口		-	-	-	-
3 屋光利用設備		3.0	0.40	-	-
3.2 グレア対策		3.0	0.30	-	-
1 屋光制御		3.0	1.00	-	-
3.3 照度		3.0	0.15	-	-
3.4 照明制御	各部屋ゾーン単位点滅可能。廊下等も人感センサー。	3.0	0.25	-	-
4 空気質環境		4.0	0.25	-	4.0
4.1 発生源対策		5.0	0.50	-	-
1 化学汚染物質	全ての仕上げ材でF☆☆☆☆を使用	5.0	1.00	-	-
4.2 換気		3.0	0.30	-	-
1 換気量		3.0	0.33	-	-
2 自然換気性能		3.0	0.33	-	-
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	-	-
4.3 運用管理		3.0	0.20	-	-
1 CO ₂ の監視		1.0	0.50	-	-
2 喫煙の制御	敷地全体が禁煙	5.0	0.50	-	-
Q2 サービス性能			0.30		2.9
1 機能性		2.3	0.40	-	2.3
1.1 機能性・使いやすさ		2.0	0.40	-	-
1 広さ・収納性		3.0	0.33	-	-
2 高度情報通信設備対応		2.0	0.33	-	-
3 バリアフリー計画		1.0	0.33	-	-
1.2 心理性・快適性		2.0	0.30	-	-
1 広さ感・景観		3.0	0.33	-	-
2 リフレッシュスペース		2.0	0.33	-	-
3 内装計画	コンセプトに沿った建物計画	1.0	0.33	-	-
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-
2 耐用性・信頼性		3.1	0.30	-	3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数		3.5	0.30	-	-
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	屋外露出ダクト:ガルバリウム鋼	4.0	0.10	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	汚水・雑排水:VP(B)、通気:VP(A)、消火:SGP白(G)	5.0	0.20	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-
2.4 信頼性		2.8	0.20	-	-
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-
3 電気設備		3.0	0.20	-	-
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-
5 通信・情報設備		2.0	0.20	-	-

3	対応性・更新性		3.6	0.30	-	3.6
	3.1 空間のゆとり		5.0	0.30	-	
	1 階高のゆとり	平均階高4.8m	5.0	0.60	-	
	2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率<0.1	5.0	0.40	-	
	3.2 荷量のゆとり		3.0	0.30	-	
	3.3 設備の更新性		3.2	0.40	-	
	1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	
	2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	
	3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	
	4 通信配線の更新性	壁内等は全て配管施工	5.0	0.10	-	
	5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	
	6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.40	-	2.2
1	生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30	-	2.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-	-	3.5
LR1	エネルギー		-	0.40	-	3.7
1	建物外皮の熱負荷抑制		1.0	0.20	-	1.0
2	自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	3.0
3	設備システムの高効率化	BEI=0.28	5.0	0.50	-	5.0
4	効率的運用		3.5	0.20	-	3.5
	集合住宅以外の評価		3.5	1.00	-	
	4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	
	4.2 運用管理体制	責任者を選定し、運用	4.0	0.50	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	
	4.1 モニタリング		-	-	-	
	4.2 運用管理体制		-	-	-	
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	3.6
1	水資源保護		3.4	0.20	-	3.4
	1.1 節水	節水型器具を採用	4.0	0.40	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	
	1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	
2	非再生性資源の使用量削減		3.6	0.60	-	3.6
	2.1 材料使用量の削減		3.0	0.11	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.22	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	内部床:ビニル床材・タイルカーペット	4.0	0.22	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	再利用可能なOAフロア・分別可能な材料で仕上げを採用	5.0	0.22	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.6	0.20	-	3.6
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	ビニル床・タイル・シート用接着材、壁紙用接着剤、塗床材、躯体	5.0	0.30	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	
	1 消火剤		-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	
	3 冷媒		3.0	0.50	-	
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	3.2
1	地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2の排出率を低減(66%)	4.4	0.33	-	4.4
2	地域環境への配慮		3.0	0.33	-	3.0
	2.1 大気汚染防止	ガス熱源の使用なし	5.0	0.25	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	
	1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	
	2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	
	3 交通負荷抑制	構内交通ルールを整備	5.0	0.25	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	
3	周辺環境への配慮		2.4	0.33	-	2.4
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	
	1 騒音		3.0	0.33	-	
	2 振動		3.0	0.33	-	
	3 悪臭		3.0	0.33	-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		1.6	0.40	-	
	1 風害の抑制		1.0	0.70	-	
	2 砂塵の抑制		-	-	-	
	3 日照障害の抑制		3.0	0.30	-	
	3.3 光害の抑制		3.0	0.20	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	
	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	